

医療法人研精会 共同生活援助 サン・ヴィレッジ

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

日時	令和7年12月4日 (木) 14:00~16:00																	
1 開催場所	グループホーム サン・ドーム 談話室																	
2 出席者	<table><tr><td>サン・ヴィレッジ利用者代表</td><td>2名</td></tr><tr><td>サン・ヴィレッジ利用者家族代表</td><td>2名</td></tr><tr><td>地域住民代表</td><td>1名 (民生委員)</td></tr><tr><td>行政関係者</td><td>1名 (市障がい福祉課)</td></tr><tr><td>医療法人研精会地域支援部</td><td>地域支援部課長</td></tr><tr><td>サン・ヴィレッジ</td><td>サン・ヴィレッジ 管理者</td></tr><tr><td></td><td>サン・ヴィレッジ サービス管理責任者</td></tr><tr><td></td><td>サン・ヴィレッジ 世話人</td></tr></table>		サン・ヴィレッジ利用者代表	2名	サン・ヴィレッジ利用者家族代表	2名	地域住民代表	1名 (民生委員)	行政関係者	1名 (市障がい福祉課)	医療法人研精会地域支援部	地域支援部課長	サン・ヴィレッジ	サン・ヴィレッジ 管理者		サン・ヴィレッジ サービス管理責任者		サン・ヴィレッジ 世話人
サン・ヴィレッジ利用者代表	2名																	
サン・ヴィレッジ利用者家族代表	2名																	
地域住民代表	1名 (民生委員)																	
行政関係者	1名 (市障がい福祉課)																	
医療法人研精会地域支援部	地域支援部課長																	
サン・ヴィレッジ	サン・ヴィレッジ 管理者																	
	サン・ヴィレッジ サービス管理責任者																	
	サン・ヴィレッジ 世話人																	
3 会議内容	<ol style="list-style-type: none">構成員の紹介地域連携推進会議の概要<ul style="list-style-type: none">目的・構成員の役割・会議の内容について説明事業所紹介<ul style="list-style-type: none">医療法人研精会 豊田西病院に併設されている 福祉事業所についてサン・ヴィレッジ (サン・ドーム、サン・ステップ、サン・ライズ1~3)についてサービス提供の内容について<ul style="list-style-type: none">家事の助言・支援、金銭管理について助言・支援、夜間対応 (オンコール) 日中活動先との連絡調整や地域行事参加への促し生活や心身の状況を把握し適切な助言・支援 (情報共有)体調や服薬の管理等の助言・支援 (訪問看護)グループホームでの日課について<ul style="list-style-type: none">日中の過ごし方 日中活動先、タイムスケジュール地域との関わりや施設行事について<ul style="list-style-type: none">栄養課による栄養教室・地域のイベントに参加サン・ドーム サン・ステップ 合同防災訓練、吐しゃ物処理練習、 バルコニー菜園、調理実習サン・ライズ 地域の防災フェスタ、自治区合同防災訓練に参加 など																	

・各種報告

職員のスキルアップと研鑽に向け参加した研修について

虐待・身体拘束報告=なし

BCP 策定状況=策定済み

4 施設見学

・サン・ライズ見学=車にて移動

17棟101号室を住民の方が案内

・サン・ドーム、サン・ステップ見学

サン・ドームは住人の方が案内

サン・ステップは住人の方が案内

見学中の感想・意見

サン・ライズのお風呂の浴槽が深い点が気になる。またぐのは大変じゃないか。

サン・ライズのトイレの段差が気になる。

5 意見交換・質疑応答

地域住民代表者

近くにあっても訪問の機会がなく、知らないことが多くあったが、今回このような機会に参加でき良かった。入所者の方の自立意識が高く、買い物や過ごし方などを聞き感心させられた。自分のことだけでなく、当番の仕事や気付いた人がする仕事など、皆で生活しているからこそ分担や協力など、入所者自らがよく考えて生活できていることに感心した。

利用者家族代表 A

入所者の方の説明がしっかりしていて驚かされた。

質問…3施設の違いは？どのグループホームに入居するか決め方は？

退所後はどのような暮らし方をしているのか。

→サン・ステップは少人数の施設。退院後小集団の生活から慣れていただき、そこから、もう少し集団が大きいサン・ドームや、地域の中のサン・ライズへとステップアップということが基本だが、現状として空いているところへ入居していただくという場合もある。また入居前の暮らし方を参考に本人に合ったグループホームを検討することもある。退所後は、最近は高齢化により介護保険サービスの利用へ移行する方もある。また2年経たずに一人暮らしを始めた方など人それぞれ。グループホームは通過点であり、地域で生活するための練習の場になっている。

利用者家族代表 B

同じ居住場所にいても、得意不得意、希望など人それぞれであることを再認識した。サン・ライズは初めて伺ったが、本当に地域密着の施設になることに驚いた。自治会の組長をしたり、清掃活動に参加するなど、本当に地域の一員として過ごされていることが素晴らしいと思った。

行政関係者

その人その人に合った暮らし方を考えられているなと感じた。地域との連携もきちんとできている。防災訓練など、他事業所で今後どうしていこうと検討されているようなことにも、すでに取り組まれていることは素晴らしい。すでに取り組まれていることを、継続していってほしい。

利用者代表 A

施設の中でこんなふうに過ごしているんだということを知ってもらえて良かった。僕は最近就労継続支援 B 型事業所に通い始め、今はパソコンを買うという目標に向かって頑張っている。また機会があれば来てください。

利用者代表 B

皆が来てくれて元気になった。ありがとうございました。